

プラス・ワン

いなさの風

No.46



令和 8 年 4 月 10 日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町 11 番 1 号

長崎市立稲佐小学校長

岡田 政宏

学校教育目標 **たくましく未来を切り拓く子どもの育成**
「なりたい自分になる」 いなさっ子の**学びの多様化に応える**

誰もが安心して学ぶ学校

気温も一気に上がり、春の陽気に誘われる中、子どもたちが、学び舎に帰ってきました。なりたい自分になるために、仲間とともに心を磨き、自らの学びを調整できる、そんな「いなさっ子」の育成に今年度も努めてまいります。

始業式で子どもたちにも話したことの概要をお伝えします。

「稲佐の山の♪」まず、本校出身の福山雅治さんが口づさむ、稲佐小学校の音源を流しました。

校歌は、その学校に通うみんなのための「特別な歌(テーマソング)」であり、学校のすてきなところや、目指したいゴールの姿が盛り込まれていることを伝えました。ちなみに、本校校歌を解説すると、

「①『稲佐山』の名前をつけた、私たちの学校のみんな！あちよつと自慢している!!」山の姿をあおぎ見ながら、高い志(なりたい自分)をもとう！」

「②鶴の形に似た海を下に見る、私たちの学校のみんな！あまたちよつと自慢している!!」この清

らかな海の水のように心を磨いていこう！」となります。

さらに、今年度は、稲佐小学校にすてきなところが増えると思えました。目指したいゴールの姿をスペシャルサポートしてくれる部屋です。名付けて『SSR(スペシャル・サポート・ルーム)』です。教室で学習や生活をしていく中で、「苦手なこと」「不安な気持ちになること」があります。一人一人に合ったトレーニングや力をつけていく部屋を新設できました。通いながら個別の指導を受けられる教室という意味で、一般的には『通級指導教室』と呼ばれています。詳細はまた後日。



転入した職員の紹介
1分12秒



<https://xgd/MUxc1>

学校徴収金システム 順調です!!

学校での現金レスを進め、子どもが現金を持つことによつて生じるリスクをなくし、教職員の授業準備や児童対応の時間を保障するために昨年度から始めた取組です。

「①年二回(5月・9月)、市教育委員会が手数料を負担し、保護者の皆様にご登録いただいた口座から教材費等の振替を行います。」★**口座の残金不足が発生すると、引落ができません、教委・学校・家庭に对应負担が発生します。**十分確認願います。

5月は、年間使用する

キユービナの代金や1学期の教材費を振替ます。それ以外には、②修学旅行・宿泊学習の臨時振込(振込手数料不要の十八親和銀行口座のサービスアプリが必要)③家庭科の材料やノート等、業者の袋での現金徴収④①②の集金調整・業者への振込など、本年度も、システム導入の意義・目的を考え、校長の岡田が一人でも対応いたします。「**口座登録**」「**残高確認**」「**振込期日**」にご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

新体制 本校職員紹介

よろしくお願ひします

4月

岡田 政宏

しいのき一組



しいのき二組
少人数等

養護

栄養

事務

支援員

司書

ALT

EEI

通級指導(SSR)
くすのき

ケセラセラ

稲佐小3年目となります。「こんにちは、福山雅治さんが大好きな、校長の岡田です。」(短く言う)「こんにちは、福山雅治です。」どうぞよろしくお願ひします。これまでの勤務を振り返ると、一つの職場に同じ立場で、3年以上務めたのは、学級担任をしていた最初の2校だけです。(通常、公立小中学校の教職員は、1校あたり3〜6年勤務します。)それ以降は、1年や2年で職務内容や職場が変わる人生でした。ということ、今回の3年連続稲佐小はとてうれしいのです。

3年目のチャレンジの一つとしては、これまで2年間実践を続けてきた「子どもを主語にした授業」子どもに学びを委ねる授業を、次の学習指導要領が目指す景色として、長崎県内の他の小中学校に広く公開していきたいと考えています。そのため、の軍資金として、県教委のほか、パナソニック教育財団の助成採択も受けることができました。これらを活用して、5月28日に「いなさ夏の陣」、11月24日に「いなさ冬の陣」と銘打って、授業公開と研究会を企画しています。保護者の皆様には、ご協力願うことがあります。ペコリです。

